

# 運協ニュース

責光 集部  
発石 井宣  
編教

## 社提案 柔軟な働き方の実現

### 木更津地区 駅と運輸区の業務体験会

JR東日本は今年5月26日、会社が持続的に成長していくためには、これまでの硬直的な系統や事業分野を超えて、仕事の垣根を超えた柔軟な働き方を実現することが不可欠だと、

「現業機関における柔軟な働き方の実現について」を組合に提案してきました。実施時期は今年度末に予定するダイヤ改正時としています。「柔軟な働き方のイメージ」としては、これまでのように同じ業務を

「柔軟な働き方のイメージ」としては、これまでのように同じ業務を

### 車掌関係の申入れ

千葉支社に以下の要求を申し入れています。

- 10両編成折り返しは着発10分以上、15両編成は15分以上を確保すること。
- 食事時間の間隔は4時間以上とすること。また、夕食時間は17時以降とすること。
- 休日1055M蘇我・上総一ノ宮間の改札要員を増員すること。
- 1062Mの蘇我から千葉方面の接続時間を改善すること。
- 休日の特急指定席拡大は利用実態に合致していないので前運用に戻すこと。
- 旅客が飲料水等を座席や床に溢した際に対応するため、吸水シートを特急に搭載すること。
- 本納駅2番線上り8両用の発車予告ベルを設置すること。また、上総一ノ宮駅1番線下りは全編成発車予告ベルまで距離があるので改善すること。
- 255系乗務員室の窓は、状態注意中にブレーキが掛かるとその反動で閉まり、背中にぶつかることがあるのでストッパーを整備すること。

「時間単位」で業務内容を変えるとしています。1日目は駅業務、2日目は乗務業務、3日目は企画業務などの例をあげ、「日単位」

### 木更津地区では「駅と運輸区の業務体験会」を計画

「柔軟な働き方の実

現」に向けて木更津地区では、木更津駅と木更津運輸区の「業務体験会」が計画され、参加者の募集が行われています。運輸区社員による駅業務の体験内容は、当直、出札、改札、分任、信号、ホーム、除草など。また、駅社員による運輸区業務の体験内容は、特急・久留里線ワンマン列車内での車内改札、お客さま案内、無人駅での特改としています。

今後は、各地で駅の社員を作るという

「フレキシブルな職場の実現」というが

会社は、駅と運輸区を一つの職場にして「フレキシブルな職場」を作ると言いますが、言い方を変えれば、今日は「乗務員」、明日は「出札担当」、その次の日は「除草業務」などと、「何でも屋」の社員を作るとい

ことではないでしょう。これでは「営業のプロ」を育成することができないのか疑問です。また、乗務するにあたっては、乗務に集中することができると不安が募ります。

安全、安定輸送の確保と旅客サービスの向上、そして労働条件改善のため職場で話し合い、要求の集約を進めよう。

